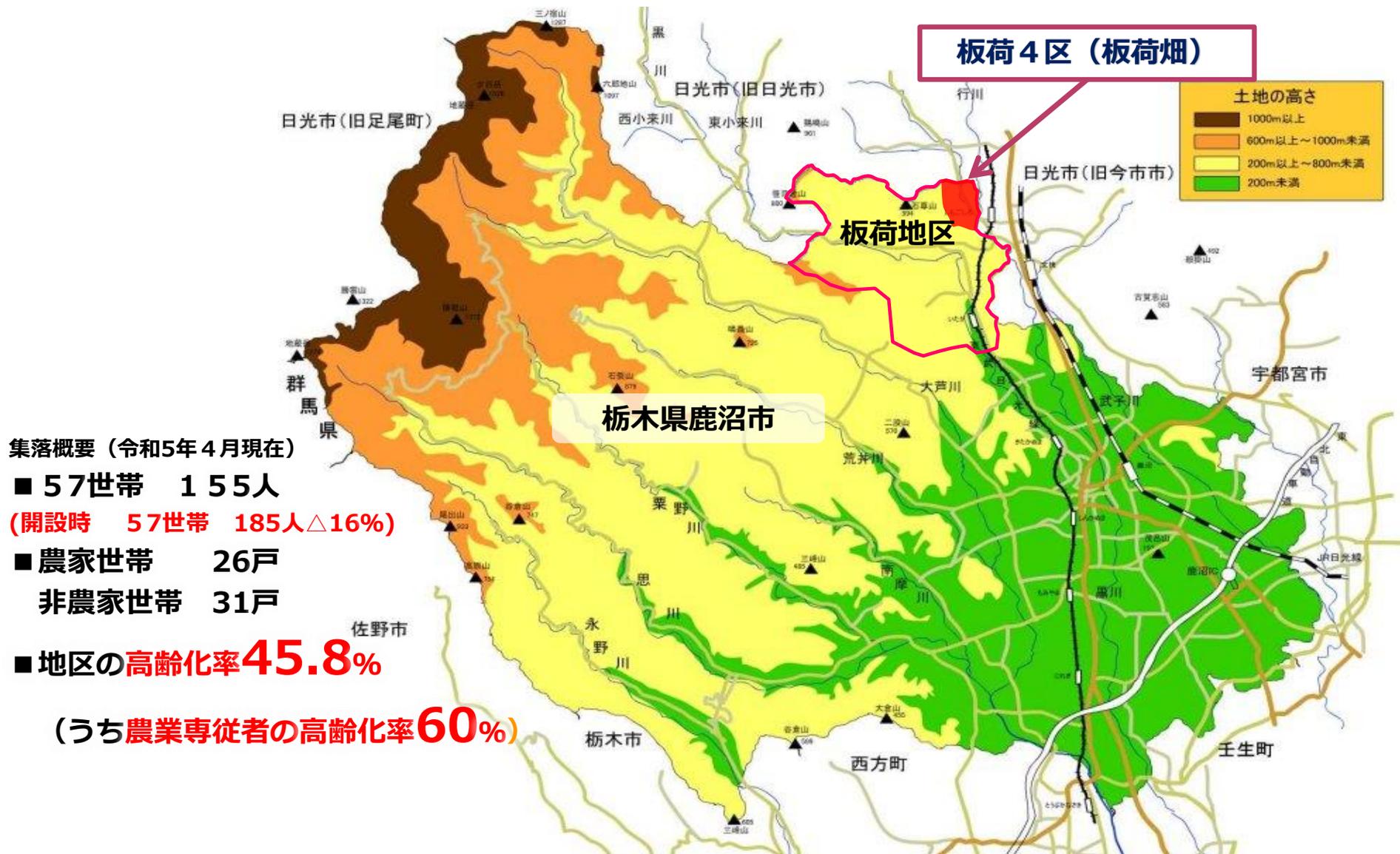


住めば都とむら栄え!

～みんなで“支え”“つなげる”地域づくり～

板荷畑地区の概要



農用地、施設の概要

農用地面積

単位：ha

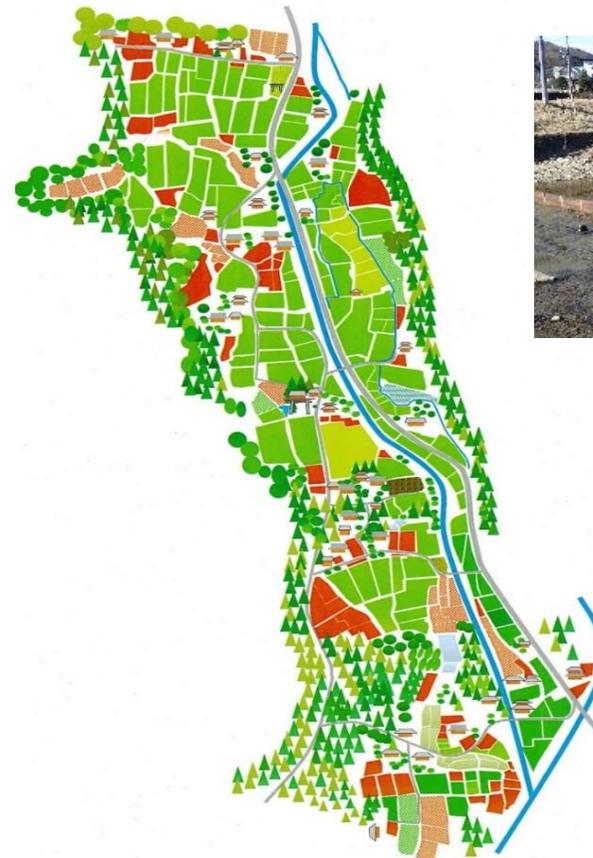
田	畑	計	放棄耕作地
23.9 (79%)	6.2 (21%)	30.1	0

農業用施設

単位：km

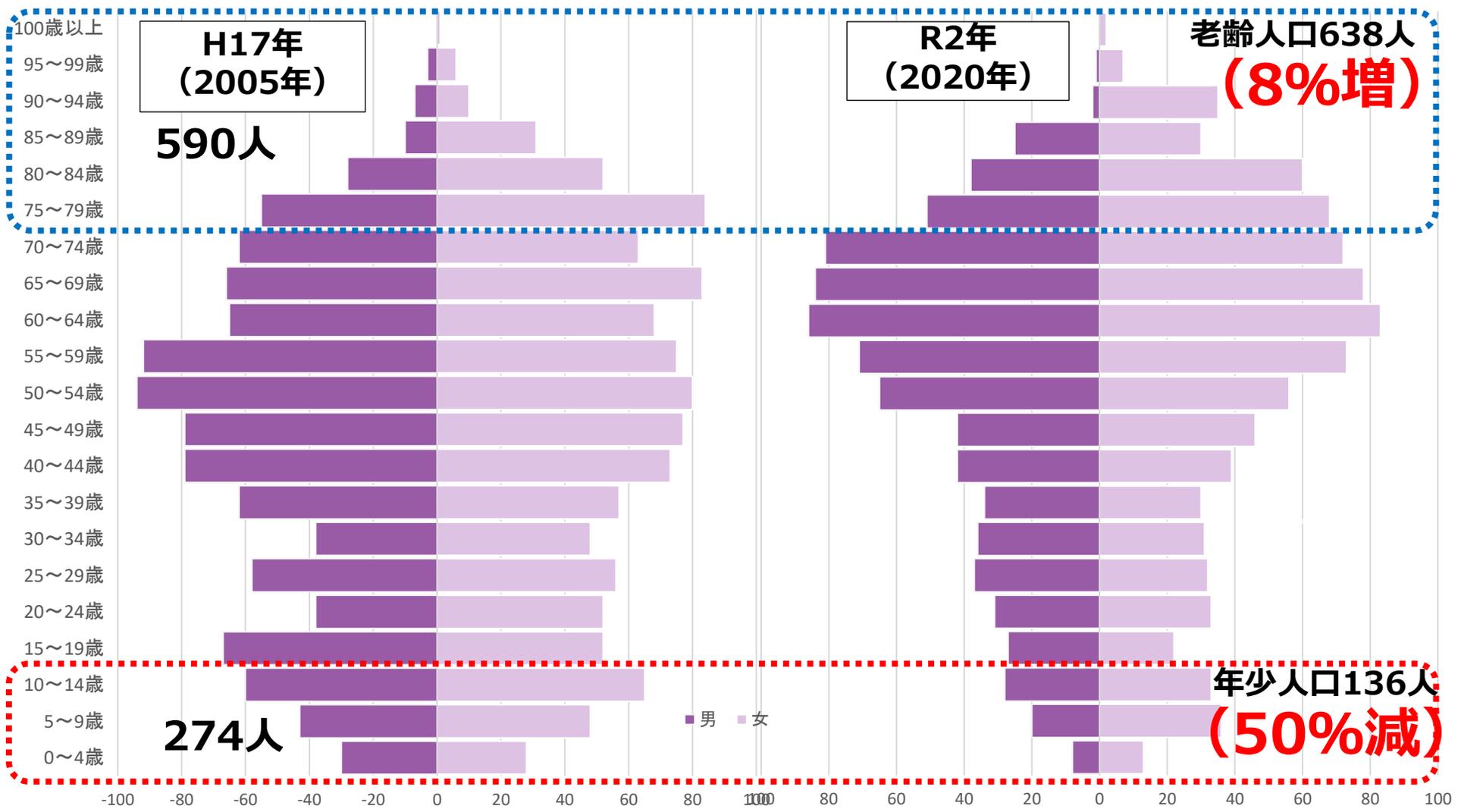
開水路	農道	関連施設 (獣害防護柵)
5.8	1.5	5.4

- ・ 平均耕地面積は1.1ha
- ・ 土地改良事業は未実施
- ・ 水利は長畑川、行川からの用水施設、取水ポンプ揚水、沢水が地域の水利
- ・ 土水路が多く残っている



少子高齢化と人口減少

年齢別人口:板荷地区



H17年
(2005年)
590人

R2年
(2020年)

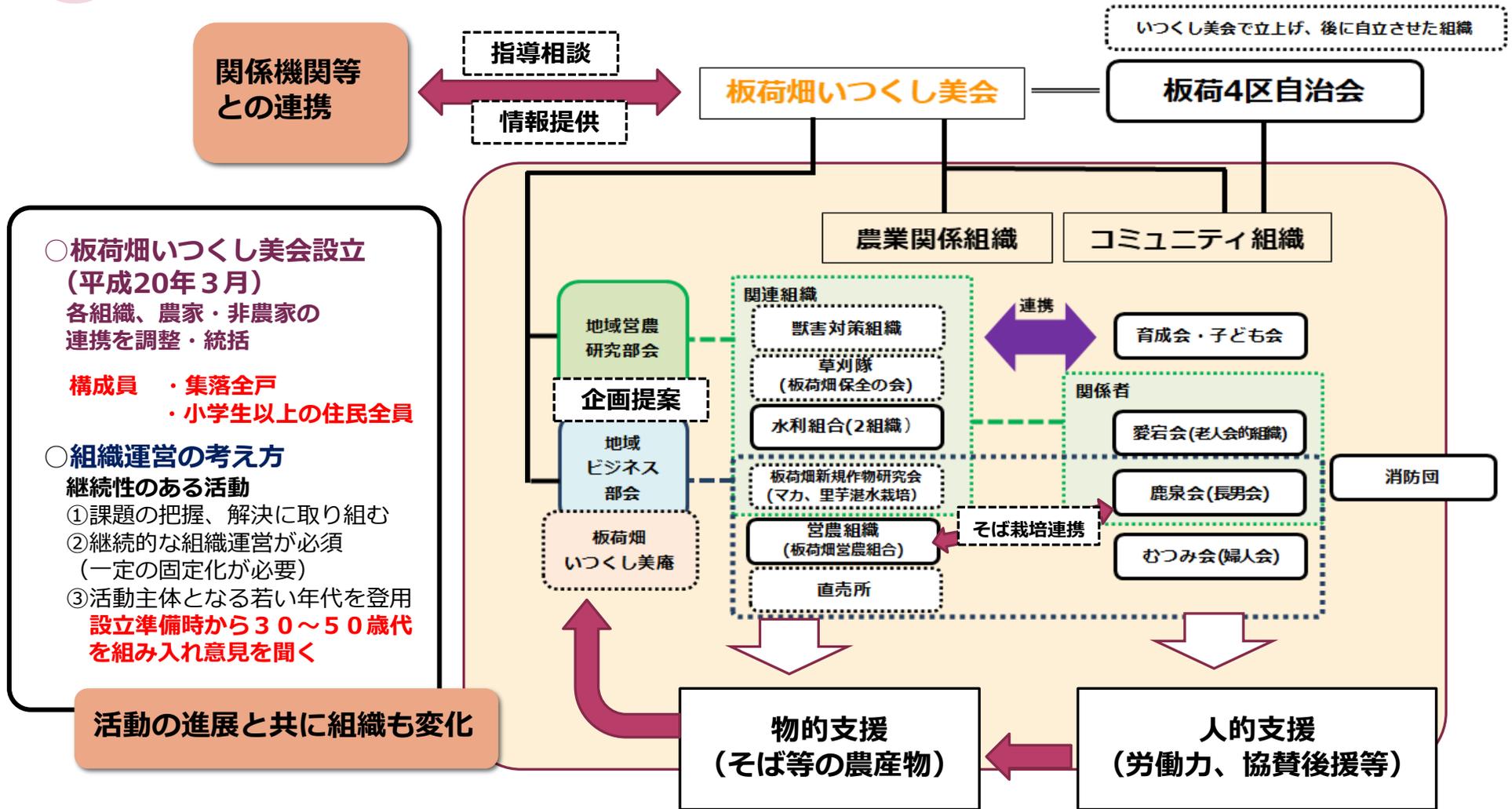
老齢人口638人
(8%増)

274人

年少人口136人
(50%減)

■男 ■女

いっくし美会の設立と地域連携体制



いっくし美会活動の取り組み

耕作放棄地発生予防



直売所開業



新規作物導入



地域づくり

そば店開業



そば祭り開催



生きもの調査



集落営農への展開



鳥獣害被害防止

高齢化
担い手不足等

課題解決に向けた
取り組み

地域課題解消

耕作放棄地解消
・予防



施設保全、災害復旧

草刈り隊設置



地域を“支え”次の世代に“つなぐ”活動

“互助の心” で地域をつなぐ

農業生産拡大や交流活動
の呼び水となる

施設の保全、災害復旧対策

野生鳥獣害防護柵設置・保全

耕作放棄地の解消・予防

“都市と農村” をつなぐ

農業6次化、地域の拠点
を核に交流事業

令和4年1月16日に地域のそば店
「板荷畑いつくし美庵」 開店

“農業と 若い後継者” をつなぐ

経済活性化、環境保全農業の継続に
向けた取組

○作物研究、地域営農検討



“世代・地域” をつなぐ

女性と高齢者の活躍の場、世代間を繋ぐ
取組になっている。

○無人直売所の設置・運営



“子どもと地域” をつなぐ

子どもの関心をふるさと
(板荷畑) に向ける取組

○親子参加の生きもの調査

広い年代の活躍 ~世代を“つなぐ” 無人直売所の開設~

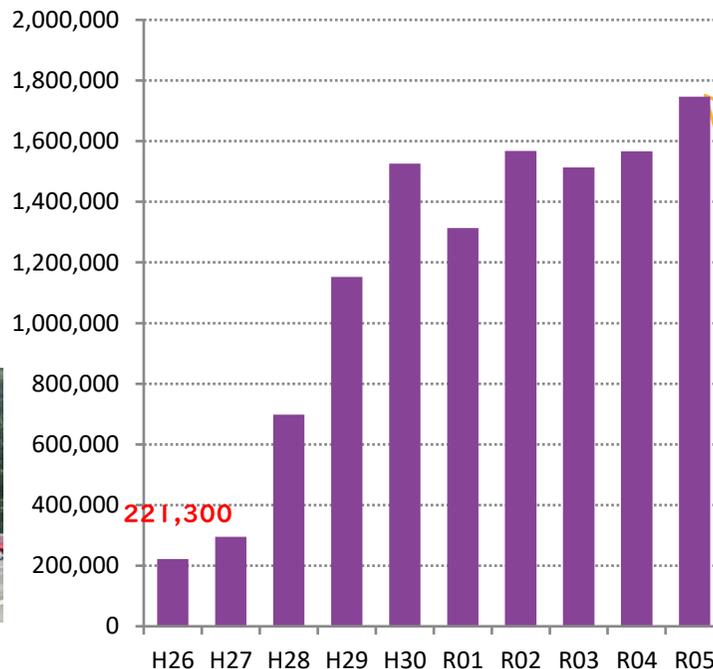
- 女性と高齢者の活躍の場、若い世代との交流により年代間を繋ぐ取り組みでもある。
- 地域のパイロットショップ、情報発信拠点として他の地域と板荷畑の交流を進める。



構成員：10名
高齢者 8名
女性 5名



無人直売所販売推移(H26~R5年度)



開設年から

販売額

約8倍

に増加

“世代・地域”
をつなぐ

女性と高齢者の活躍の場であり、農家の世代間を繋ぐ取組になっている。

子どもや親を地域と“つなげる” ～「生きもの調査」から地域愛を～

● 田んぼや水路で生きもの調査を行い、子どもたちが地域の環境の学びと自然の中で遊んだ思い出により、郷土愛の醸成することや、保護者の地域活動への入り口としてとらえています。



生きもの調査の様子



生きものマップづくりの様子



生きもの調査まとめの様子



“子どもと地域”
をつなぐ

子どもの関心をふるさと
(板荷畑) に向ける取組

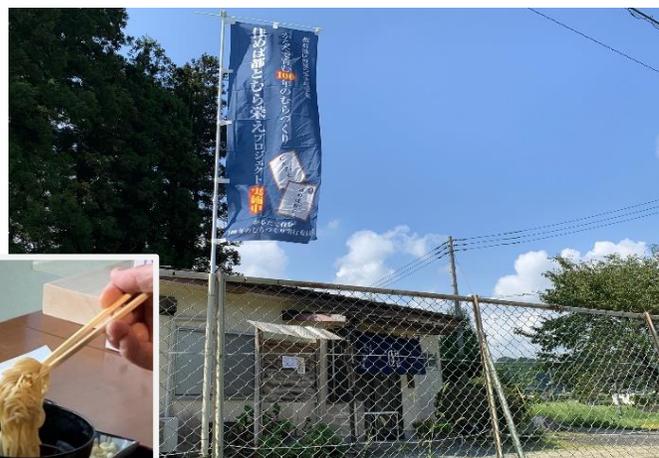


地域資源を生かし、都市とつなげる

●耕作放棄地の発生防止で始めたそば栽培を、地域交流「世界で一番小さな板荷畑そば祭り」に拡大。
令和4年に地域運営のそば店「板荷畑いつくし美庵」開店



農業生産拡大や交流活動
の呼び水となる



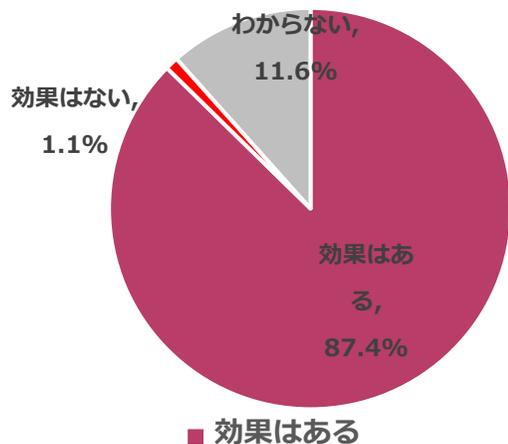
「世界で一番小さなそば祭り」から「**地域のそば店**」整備に向けた機運が高まり、令和4年1月16日に地域のそば店「**板荷畑いつくし美庵**」開店

“都市と農村”
をつなぐ

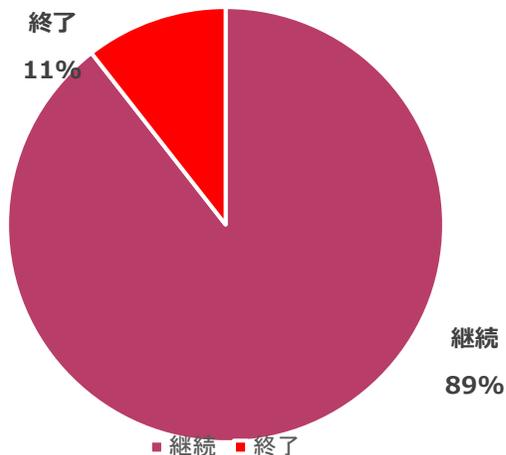
農業6次化、地域の拠点
を核に交流事業

アンケート調査から見た効果

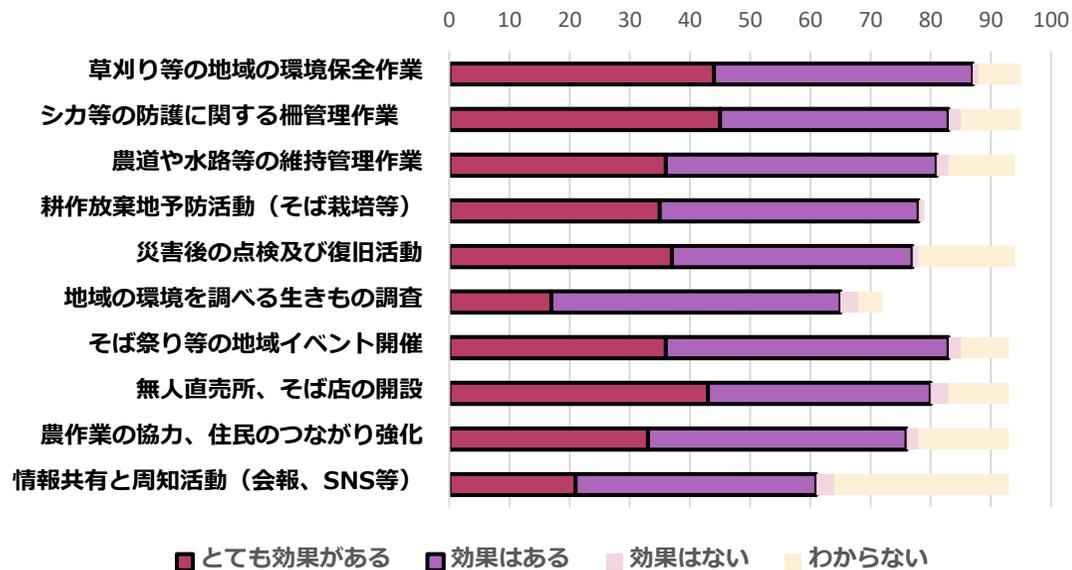
地域づくりへの効果



活動は継続すべきか



活動別の効果



・会創設以来、アンケート調査に取り組み、構成員からの評価やニーズを探り活動内容に反映させている。

第1回（H20）活動への関心、地域課題等の把握

第2回（H28）活動の効果、世代別農業への考え

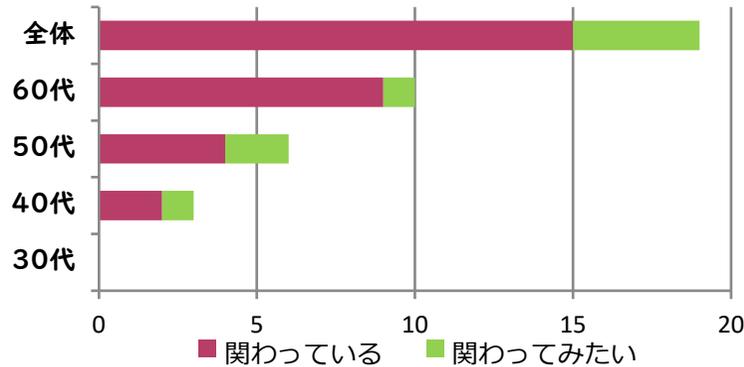
第3回（H30）活動効果、保有農機具の実態、農地保全、農業や地域づくりの考え（全構成員）

第4回（R 5）効果、活動の効果と継続の可否、集落の農業と農地の保全を主たる住民。（中学生以上）

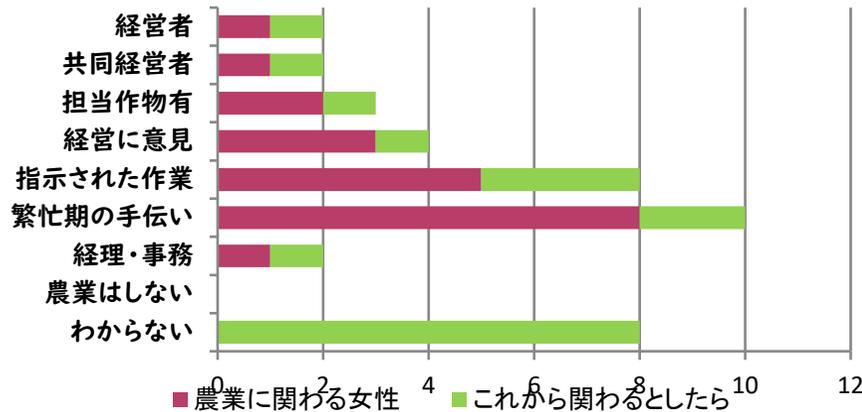
広がる“地域づくり”“人づくり”

- 地域住民（女性）の掘起しを実施（H30年度アンケート調査）
- 地域活動への参加を積み重ねた結果、女性の地域づくりへの関心が高まっている。
- 資源を活かした地域づくりへの意欲向上

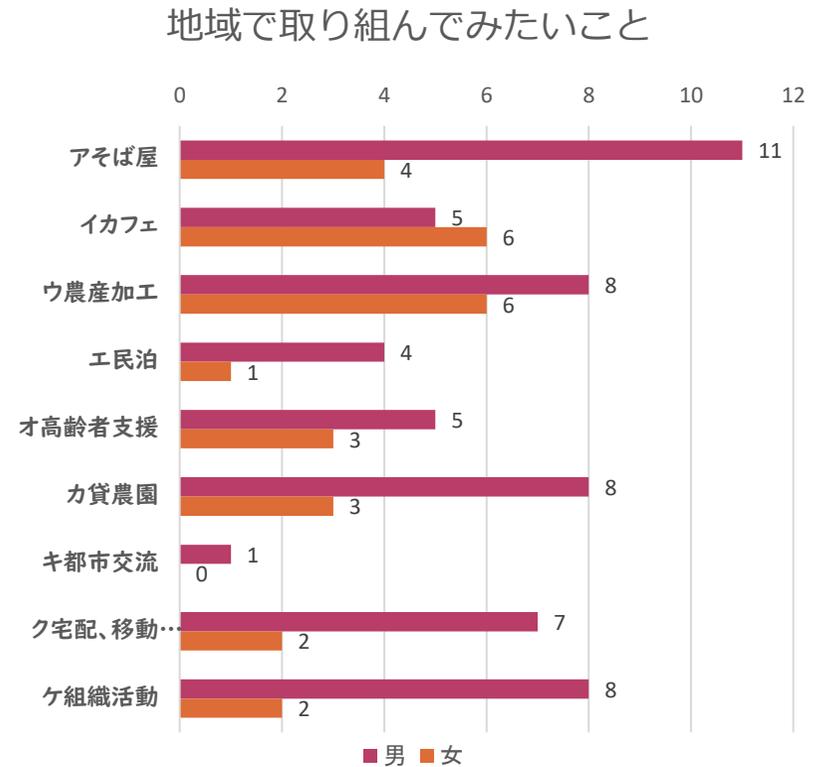
女性の農業への関わり



農業への関わり方

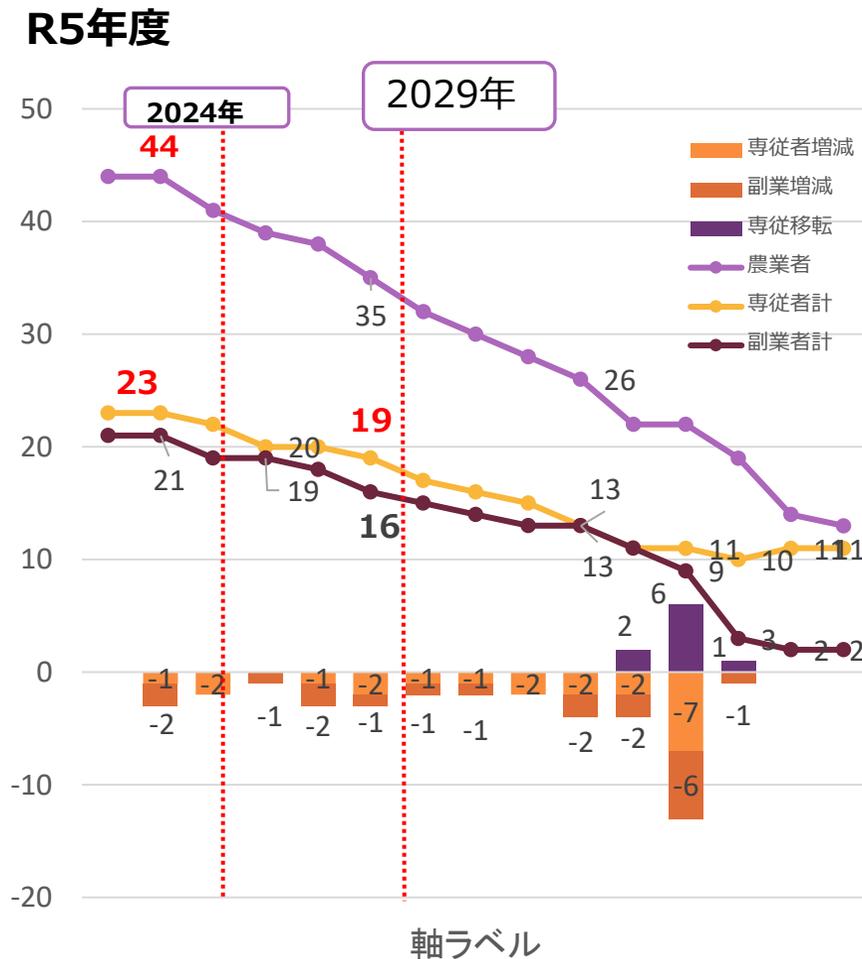
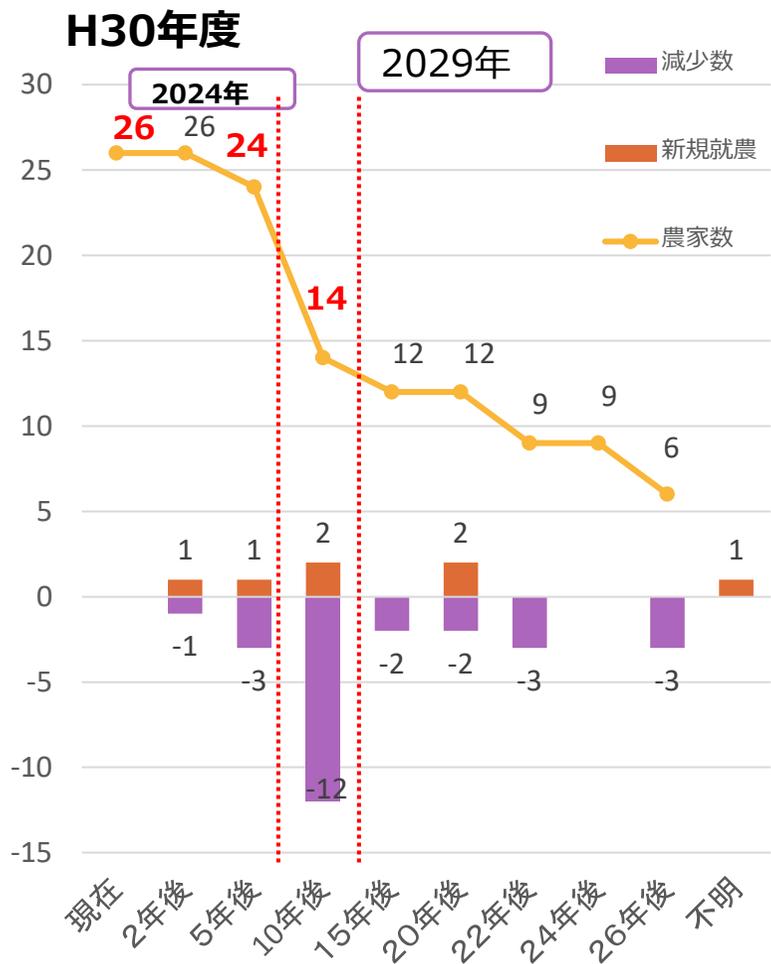


地域でやってみたいこと



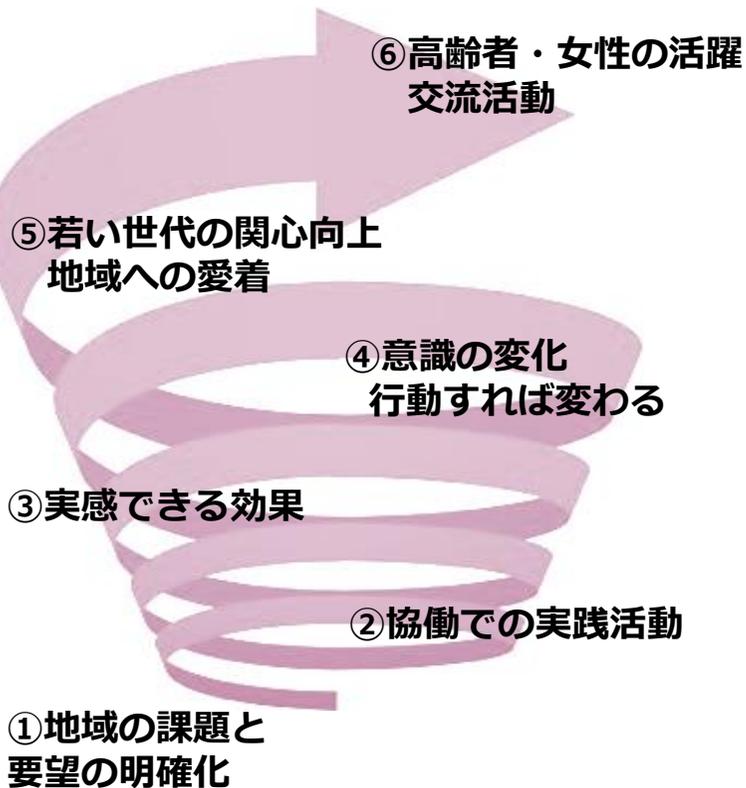
課題の整理と今後の対応

令和11年度（2029）には約半減すると見込んでいたが、R5年度調査では、専従者減少傾向が緩やかになったもの、引き続き対策を検討する。

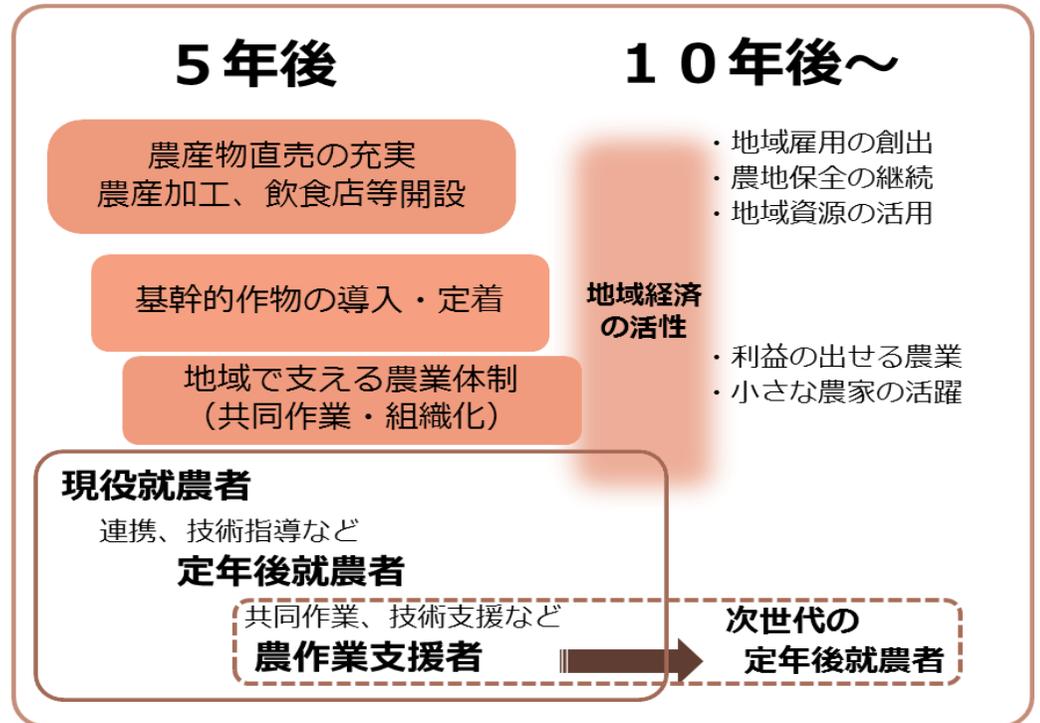


10年後の地域を考える

意識変化が好循環を生み出す
「負のスパイラル」からの反転



⑦農業を活用した暮らしたい地域へ



目標：稼げる地域（地域で法人化）

